

私のオーダーメイドの旅

リバティヒルクラブでは、国内・海外問わず、パッケージツアーからオーダーメイドまで様々な旅行の手配をお手伝いさせて頂いております。今回は、特に多くのメンバー様からご好評頂いている「オーダーメイドの旅」を特集致します。カンボジアとラオスの旅とアマルフィとウィンブルドンの旅をされた会員様にご協力頂きました。
(編集担当：リバティヒルバケーション 岩崎治幸)

アマンリゾートのサービスの質の高さに感動

結婚30周年を記念して、かねてより一生に一度は滞在してみたいと思っていた憧れのアマンリゾート（以下アマン）に行く事になりました。

アジアを中心に23もあるアマンの中から、アンコールワットのカンボジアと、ラオスの古都を選び、一週間の旅を岩崎さんに組んでもらいました。

まずはホーチミン経由でカンボジアのシェムリアップへ。小さな空港に降り立つと、笑顔のアマン・ボーイとクラシック・カーが迎えてくれました。車に揺られて、「アマンサラ」に到着。

アマンの最も素晴らしい点は、その町に初めて滞在するのかどうか、また滞在日数によって、それぞれのゲストにベストと思われる観光プランが組まれている事です。

(もちろん、変更やキャンセルも可能です。)

そのプランで、夕方から専属のガイドとトゥクトゥクで、丸二日間の遺跡巡りをしました。



かつてはカンボジア国王・シアヌークの来賓用のヴィラをアマングループがホテルへと変貌させた「アマンサラ」(シェムリアップ、カンボジア)



アマン(平和)とセラバダ仏教の教本にある仏陀の教えを意味するティピタカのタカの由来する「アマンタカ」(ルアンパバーン、ラオス)

何百年もジャングルに埋もれていた寺院や王宮、その石造物に、根をからませてそびえ立つ木々の生命力に圧倒されました。クメール・ルージュの破壊の歴史、内戦が終わってまだ20年ほどしか経っていない事、国としての貧しさなど、ガイドを通して様々な話を聞く事が出来ました。

世界遺産に登録されているラオスのルアンパバーンでは、夜明け前から「アマンタカ」前の歩道にゴザを敷いて座り、毎朝行われる僧侶の托鉢を体験しました。そして、メコン川のクルーズ。アマンのボートは内装もシックで豪華。もちろん、二人だけのプライベートクルーズです。

内容の濃い観光に加えて、アマンの細かい所まで行き届いた心配りと、様々なサービスの質の高さには、大変感謝しました！

「貧しい国にこんな贅沢な旅行を…」と多少ためらいもありましたが、アマンで働いている人やガイドを通して、人々の暮らしを知る事が出来たのは、貴重な体験となりました。いつになるかわかりませんが、また是非アマンに滞在したいと思います。

今回は、ボルブドゥール？ ブータン？



1



2



3



4

1 送迎用のクラシック・ベント 2 遺跡を侵食する樹木(タ・ブROOM、アンコール遺跡) 3 ワット・セントーン 4 僧侶の托鉢を体験

1~2: シェムリアップ(カンボジア)、3~4: ルアンパバーン(ラオス)

日程表(概略)

- 第1日目 成田▶ホーチミン▶シェムリアップ(空路)
- 第2日目 シェムリアップ滞在、「アマンサラ」泊
- 第3日目 シェムリアップ滞在、「アマンサラ」泊
- 第4日目 シェムリアップ▶ルアンパバーン(空路)
- 第5日目 ルアンパバーン滞在、「アマンタカ」泊
- 第6日目 ルアンパバーン滞在、「アマンタカ」泊
- 第7日目 ルアンパバーン▶ハノイ(空路)
- 第8日目 ハノイ▶成田(空路)



アンコール遺跡(シェムリアップ)

アマルフィ滞在、ウインブルドン観戦という異色の旅を満喫



アマルフィでは、海と港、そして、市街を一望に見渡せる、ホスピタリティに定評のある「マリーナ・リヴィエラ」に宿泊。

6月23日から9日間かけて、イタリア・アマルフィ滞
在とイギリス・ウインブルドン観戦の旅に出掛けました。

*

最初の目的地、アマルフィへは、フランクフルトから
小型機へ乗継ぎ、一旦ナポリに宿泊。翌朝、ホテルの最
上階にあるレストランで、眼下に広がるナポリ湾を眺め
ながら朝食を楽しみました。

アマルフィへ専用車で向かう途中、ナポリ市街を観光
しましたが、歴史的な建物が多いだけに、日本語ガイド
による解説は、とても参考になりました。昼食に立ち寄っ
たポジターノの山頂で味わうピッツアやパスタは、流石
本場の味です。

さて、ここからは、海と断崖絶壁の間を走るカーブの
多い難所。クラクションが鳴りっぱなしの約1時間半。
それでも、バスやカプルのスクーターも私達と同じス
ピードで走っているから驚きです。

ようやく到着したアマルフィでは、ホテルの屋上のプー
ルで泳いだり、クルーザーでポジターノに行ったりと、
すっかり寛いで過ごしました。カプリ島では、青の洞窟
を見学しました。

食に関して言えば、ワインやビールはもちろん、海や
山の幸等、食材を生かしたお料理は、やはり現地でなけ
れば味わえない素晴らしいものでした。

日程表(概略)

- 第1日目 成田▶フランクフルト▶ナポリ(空路)
- 第2日目 ナポリ観光後、ポジターノを経て、アマルフィへ(専用車)
- 第3日目 **アマルフィ**滞在
- 第4日目 ソレントへ(専用車)。カプリ島へ(ジェットフォイル)。
- 第5日目 アマルフィ▶ナポリ(専用車)▶ロンドン(空路)
- 第6日目 ロンドン滞在、**ウインブルドン観戦**(センターコート)
- 第7日目 ロンドン滞在
- 第8日目 ロンドン▶成田へ(空路)
- 第9日目 成田着



アマルフィから、ウィンブルドンへ。センターコートでのテニス観戦。

写真提供:ウィンブルドンエクスペリエンス



写真提供:ウィンブルドンエクスペリエンス



「Gatsby Club」で過ごす極上のウィンブルドン観戦。ウィンブルドン名物のストロベリークリームとシャンパン。

次の目的地、ウィンブルドンへは、アマルフィからナポリへ戻り、空路約3時間で現地入り。
翌日、センターコート等でナダル、マレー、錦織圭、添田豪といった国内外のプレーヤーのテニス観戦を楽しみました。間近で観る試合は、緊張感が違いますね！
試合の間は、VIPルーム (Gatsby Club) のシャンペンやオードブルを頂きました。残念ながら、友人と食事の約束があり、途中でウィンブルドンを後にしました。
セルフリッジデパートにも訪れましたが、世界最高の百貨店として二度も受賞されただけあって、本当に素敵ですね。また、オックスフォードストリートも、ユニオンジャックの旗！旗！旗！。オリンピック直前の、とてもエキサイティングな雰囲気にも包まれていました。

*

アマルフィとウィンブルドンというテーマの異なる旅も、オーダーメイドだからこそ実現出来たプラン。今回の旅の日程表を作成して下さった岩崎さん、有難うございました。

オーダーメイドの旅はLHVへ

様々な情報をこれからも発信して参ります。ぜひご覧下さい。
<http://www.libertyhillvacations.co.jp/>

5回目を迎える「LHV TRAVELER」の特集として、今回は、多くのお客様の中から、特に印象に残ったディスティネーションへ行かれた方の旅行記です。リバティヒルクラブの会員様は、旅慣れた方が多く、私もまだ手配した事のない「未知の世界」への関心が高く、日々勉強させて頂いております。弊社では、お客様のご希望される旅のテーマに沿った、オリジナルの旅をご提案しております。

例えば、こんな旅はいかがでしょう？

- 気軽にシャトー訪問！ ～フランス・ボルドーとサンテミリオンでクラシックワインと仏料理～
- ブルゴーニュを駆け抜ける！ ～ディジョン・ボヌー・リヨンでフランスを飲んで食べて大満足～
- 奇跡の島々！ ～ハワイ島のナチュラルリスト・エコツアーガイドと歩くディープハワイエコツアー～
- スコットランドリンクスへの挑戦！ ～セントアンドリュースオールドコースでゴルフ三昧～
- 大人のプレーヤーも大歓迎！ ～フロリダのIMGテニスアカデミーでレッスン体験～

さあ、旅へ出掛けましょう。皆様のオーダーメイドの旅創りのお手伝いをさせて頂ければ幸いです。

リバティヒルバケーション

TEL: 03-3723-1500 FAX: 03-3723-8788
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘3丁目17番1号
リバティヒルビル2階
東京都知事登録旅行業第3-5278号
総合旅行業務取扱管理者 岩崎 治幸
e-mail : iwasaki@libertyhill.co.jp

